

東芝メディカルシステムズ
最高級超音波診断装置「Aplio MX」を発売
(2009/10/5)

東芝メディカルシステムズ(株)は、最新のイメージングテクノロジーを搭載し、容積を従来装置の約50%に小型化した「Aplio™ MX」(アプリオ エムエックス)を商品化し、2009年10月より営業活動を開始する。

＜主な特長＞

● プレミアムの名にふさわしいパフォーマンス

同社の最高級超音波診断装置 Aplioシリーズの流れを汲むプレミアムの名にふさわしいパフォーマンスを発揮。日本超音波医学会第6回技術賞を受賞したDifferential-THI *¹や、ApliPure™ *²など、高い評価を得ている東芝独自のイメージング技術に加え、本製品は最新のイメージング技術 Precision Imagingを搭載。Precision Imagingは、超音波画像を形成する信号を処理することにより、組織信号を強調し、生体内組織の境界などの構造視認性を高め、腫瘍部分などがより描出しやすくなることが期待される。豊富なプローブバリエーションと多彩な臨床アプリケーションで、腹部、表在、産婦人科、循環器など幅広い臨床分野で使用できる。

検査データは大容量の内蔵ハードディスクに保存され、優れた操作性で簡単に検索・呼び出しが可能。また、USBメモリやCD/DVDで外部へ取り出すことも容易で、DICOMIにも対応している。

● 優れたエルゴノミクス

装置本体の容積を従来機種約50%に小型化し、重量も約30%削減*³、限られたスペースでも快適に使用できる。また、大型グリップハンドルの採用で装置の移動もスムーズに行える。さらに部材のグリーン調達から省エネ、省資源化など環境に配慮した設計により、東芝グループで環境に配慮した製品を称する環境調和型商品(ECP)に認定されている。

東芝が提唱するエルゴノミクスコンセプトiStyle™に対応。自在に動く19インチ大型高画質LCDモニター、術者に応じて操作パネルのキー位置を自由にレイアウトできるコンソール、あらかじめ登録されたプロトコルを簡単な操作で順次呼び出す IASSIST™(オプション)などにより、快適かつ効率的な超音波検査環境を実現。(次頁に続く)

- * 1 ApliPure:
2種類のコンパウンド技術を複合して、より鮮明な画像を得る技術。
- * 2 Differential Tissue Harmonic Imaging:
2つの周波数を合成して送信し、差音と高調波をPulse Subtraction.法により抽出。広帯域プローブの帯域幅を最大限に利用したTHI画像。
- * 3 同社AplioXGとの比較。装置本体とは、操作パネル、観察モニタを除いた本体部分を示す。



東芝
(Aplio MX)